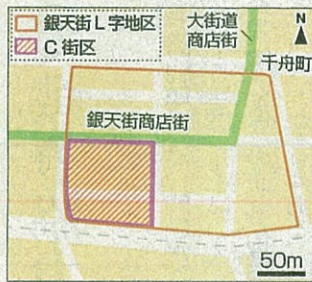




① L 字地区再開発のたたき台となる計画のイメージ図(準備組合提供) ② L 字地区再開発に向け準備組合が設立された C 街区
11 24 日午後、松山市湊町 3 丁目



松山市中心部の銀天街商店街 L 字地区再開発で湊町三丁目 C 街区地区市街地再

松山・銀天街

20 年度着工へ

L 字地区ビル 3 棟計画

開発準備組合(日野二郎理事長)が 24 日設立され、再開発のたたき台となるオフィスや住宅などビル 3 棟を建設する計画を公表した。今後、計画を精査し市の都市計画決定や県の認可を経て、2020 年度夏着工、21 年度末の完成を目指す。L 字地区は湊町 3 丁目から河原町までの約 4 万 5 千平方メートル。10 区画を A、B、C に分け、それぞれ地権者の合意を得て順次再開発に着手する。C 街区はショッピングビル「GET」の周辺約 1 万 5 000 平方メートル。計画では、店舗や立体駐車場(650 台)が入る 9 階建ての駐車場・商業棟と 8 階建てのオフィス棟、13 階建ての住宅棟(77 戸)を建設。東西に走る市道をなぐし、広場や公園も設置するとしている。

C 街区では 15 年に「湊町三丁目 C 街区開発協議会」を設立し、勉強会や地権者 32 人との個別面談を実施。高齢者や女性ドライバーに優しい駐車場の整備▽商業核の誘致▽公園など交流拠点の導入▽都市型住宅の供給▽中之川通り沿いに商業施設配置―の方針を基に計画を策定していた。計画にほぼ全員の賛同を得て、準備組合を設立した。GET であった設立総会には地権者ら約 20 人が出席。日野理事長は「銀天街は可能性がある街。もう一度コンパクトなまちづくりをするきっかけになれば」と話した。(山本茜)



2017 年(平成 29 年)
4 月 25 日
火曜日

発行所 松山市大手町 1 丁目 12-1 郵便番号 790-8511
愛媛新聞社
電話 089(935)2111 受付案内台
HP <http://www.ehime-np.co.jp/>
© 愛媛新聞社 2017